



http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~nakanohp/

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

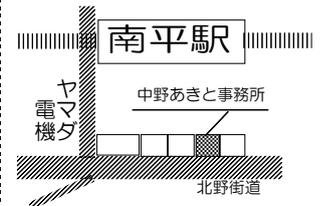
みどりと清流

中野あきと事務所 第112号
〒191-0041 日野市南平7-6-72
TEL・FAX 042-599-3350 2011年
発行責任者 小林 進 7月発行

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 2900円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



市内の放射線量の測定は？

「原発は無くせるのか」 共産党の見解は？

いま、原発事故について、存続の是非から市内の放射線量の実態など、市民の方々の関心は強いものがあります。先月二五日の夕刻、私たちは日野駅、豊田駅と共に高幡不動駅でも「原発撤去」の街頭行動を行いました。わずかに時間の間に130をこえる署名が集まりました。これらの行動の中でも率直な質問が寄せられたり、また、事務所にも問い合わせなどがありました。この紙面でいくつかの問題についてお答えいたします。

中野あきと

■事故は「人災だ」という理由は何ですか？

国の原発政策と共に、福島第一原発についても私たちや地元の人々などが、以前から今回のような事故が起り得ることを想定して警告してきましたが、東電も歴代政府も「安全神話」にどっぷりつかって何の対策も行いませんでした。地震と津波は自然災害ですが、原発事故は東電と政府が起こした「人災」です。

■安全対策をたてれば大丈夫という考えもありますか？

100万kWの原発が一年間稼働すると広島型原発の1000発分の「死の灰」が溜まります。これを安全に閉じ込めておく手段も、無くす技術も確立されているわけではあり

ません。「死の灰」の危険が消えるのは一〇万年単位の話です。また、稼働中の原発からは、常に冷却が必要な使用済み核燃料が生み出され、貯蔵スペースも間もなく無くなり得ないという事実を謙虚に認めることが大切です。

■原発は無くせるのか？ エネルギーはどうする？

私たちは「一刻も早い撤退」という提起を行い、その期間は「五年から十年で」と考えています。詳しくはぜひ『すみやかな撤退と自然エネルギーの導入』という「提案」を見て頂きたいのですが、日本の自然エネルギーの資源は豊富で十分可能なことです。

大事なことは「すぐに無くしたい」



「原発から撤退を求める署名」行動 高幡不動駅前にて

という人も「二十年位はかかる」と思う人も、「原発からの撤退」で一致して政府に「撤退」の決断をせまることがです。

■市内の汚染状況は。日野市は測定をしないのですか？

六月の市議会では私たちのほか、自民、公明、社民の議員からも、放射線量の測定を求める声が上がりました。ところが市長は「測定する能力も結果の対処法もない」と言い、独自測定を行い結果を公表し市民の心配に慮っている周辺の市に比べ、その違いが際立っています。市民の皆さんもぜひ声を上げて下さい。

なお、共産党市議会も測定器を注文し、継続的測定することにしました。「ここを測定して」などの要望にも応えたいとおもいます。

短信

市内の放射線量を心配する市民の声は多い。周辺の市では、学校や保育園、公園などの測定値を公表しているというのに日野市の腰は重い。

「専門的知見を持ち合わせていない」「結果の評価がわからない」「高い数値が出ても、対応能力がない」などと述べ、動こうとはしない▼特定避難地域で到る所がホストスポットと語る福島県霊山町の元町長さんの話に感銘した。怒りは怒りとし事実は事実として受け止め冷静に対応しているとの報告を、2日の明治公園での「原発ゼロ」を目標集会で聞いた▼「原発は危険」が前提の欧米では、最悪の事態を明らかにしながら回避の方策を伝えるという。たとえ深刻な事態であったとしても、在りのままを伝えてこそ冷静な対応ができる。仕方なく情報を後出しする東電や保安院への信頼は地に落ている▼日本は負けないという「神風神話」然り。過酷事故は起り得ないという「安全神話」もまた然り。情報の隠ぺいこそが「神話」を生んだ。焼けた明治公園のアスファルトに座り壇上の話を聞きながら、二つの「神話」を体験した年配者が抱いた思いである。(R)

マスタープランに沿ったまちづくりを

豊田南・大規模マンション建設問題

中野市議は、中央図書館の権利者も市民」と答弁した。下の10階建て135戸のマンション計画を六月議会の

一般質問でとりあげました。『住みよい豊田をつくる会』では日野市に対し、◆マ

この建設計画は『まちづくりマスタープラン』にもとづき建物の高さ制限をもうけること、

◆まちづくり会議や公聴会を開き、慎重に検討することの二点を求めた陳情書を

提出しましたが不採択となりました。また、豊田駅南口にも高層のマンション計画があり、

説明会では17階建・82戸、高さ50mで1階に店舗が入る計画が発表されています。

次々と高層マンションなどが計画されるなかで、『マスタープラン』に沿ったまちづくりをしてほしいとの声が上がっています。

市長は指導を否定、「土地

にもとづき業者を指導すべきではないか」との追及に

市長は指導を否定、「土地

「日野市まちづくりマスタープラン」一部要約

◆市民には、まちづくりに参加する権利と責任を

◆事業者には、良好な環境確保の努力を

◆議会には、まちづくりの施策に市民意見を反映させる努力を

◆市長には、マスタープランにもとづき土地利用を実施する責任などを求めています。



震災時は児童の「引き渡し」を原則に

先の東日本大震災の発生当日、交通機関が停止したために多数の市民が帰宅困難に陥りました。災害時における児童・生徒の帰宅は「保護者に引き渡すまでは学校で保護」することが原則になっていましたが、今回の地震では教育委員会は「教員をつけての集団下校」を指示しました。

校長の判断で、保護者の迎えがあるまで学校で保護したところがある一方で、保護者の帰宅が遅くなり、子どもが一人で自宅で過ごす場合も生まれました。

こうした教訓をふまえ、教育委員会は「震度5弱以上の地震が発生した場合は、小学生と配慮が必要な中学生については原則『引き渡し』とする」「保護者が引き取りに来るまで間は、学校が責任をもって預かり、保護する」方針を明確にし、保護者にも徹底することにしました。6月市議会の補正予算では、児童生徒を保護するために必要な毛布(670枚)などの経費が計上され、今後は食料などの備蓄も検討することが明らかにされました。

想定される首都圏直下型地震の場合では、大規模な火災なども起きるとされ、車両や歩行者での帰宅は、二次災害を招く危険性があるとの指摘もあります。震災時に学校、保育園、学童クラブなどで子どもを保護することを明確にすることは、この点でも重要です。

被災地のボランティアに参加しませんか？

震災から4カ月になりますが、現地では、復旧・復興へ懸命の努力が続けられています。党市議団は、5月に続いて7月のボランティア派遣を計画しています。よろしければ、一緒にご参加ください。

また、食料(米、野菜、缶詰など)、衣類(新品の夏物)など救援物資を届けることも計画しています。物品の提供、物資購入のためのカンパへのご協力もお願いしています。(ご連絡いただければお伺いします)

ボランティア内容

- 期間/7月26日(火)～29日(金)
 - 活動場所/宮城県東部(石巻市など)
 - 活動内容/ヘドロ除去作業、救援物資の配布など
 - 自己負担/保険料、食費、宿泊料、交通費含めて1万円以内
 - 申し込み/健康や体力に自信のある方歓迎
- 準備の都合上、7月20日(水)頃までに中野までご連絡下さい。(定員になり次第締め切ります)

◇◇ミニ・ニュース◇◇

■右折用矢印信号の設置を(北野街道イゲタヤ前T字路)

京王線との立体交差が完成した市道の、北野街道に接続する箇所での矢印信号の設置が要望されていました。今日1日、中野議員が市の担当課に申し入れました(設置は警察で検討されます)。

■南平8丁目、熊野神社裏山にガケ崩れ防止壁完成

3月の大地震で熊野神社の裏山の一部が崩落し、中野議員が市に対策を求めていましたが、このほど防止策が設置されました(危険箇所のため裏山は立ち入り禁止となっています)。

《11年8月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

8月 11日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。